

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 所管事務の調査（報告）

(3) 平成30年度 公益財団法人川崎市身体障害者協会

「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

資料1 平成30年度 公益財団法人川崎市身体障害者協会

「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」

参考資料1 公益財団法人川崎市身体障害者協会

「経営改善及び連携・活用に関する方針」

令和元年8月22日

健康福祉局

経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (平成30(2018)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
-----------------	------------------	------------	-------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

川崎市の身体障害者福祉事業における実施体制の中核として、団体の育成、障害者理解促進のための普及・啓発、地域生活支援及び社会参加推進等を行うことを通じて、市内の身体障害者福祉の充実・発展と、「完全参加と平等」の理念に基づく身体障害者の地域社会での自立と社会参加の支援に寄与しています。

また、市内の身体障害者の自立更生と福祉向上のため、身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を行う法人としての役割を担うとともに、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの拡充など自主財源の確保に努め、引き続き経営改善を進めます。

さらに、市内に在住、在勤、在学の障害者に対して、部局の枠組みにとらわれることなく、その成長を促す取り組みを通じて市民とともに、存在意義を高めていきたいと考えます。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		<ul style="list-style-type: none"> ・生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり ・活力と魅力あふれる力強い都市づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの充実 ・スポーツ・文化芸術を振興する
	分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次かわさきノーマライゼーションプラン ・川崎市スポーツ推進計画 	

4カ年計画の目標

- ・障害者の社会参加事業の充実
- ・パラリンピック開催を契機とした障害者スポーツの更なる普及促進
- ・障害者スポーツ協会の効率的な運営
- ・サービス利用希望者が利用しやすい効率的な体制の確立及び福祉キャブにおける顧客満足度の向上
- ・普及啓発に向けて広範囲かつ効果的な活動のPR
- ・利用状況調査を踏まえた既存事業の見直しの検討

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	障害者社会参加推進事業	生活訓練等事業への参加者数	人	3,867	3,886	3,894	a	A	I
		スポーツ大会等への参加者数	人	2,770	2,909	3,141	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	42,338	42,338	46,503	2)	(2)	
②	生活支援事業	生活支援事業の利用者数	人	5,867	5,984	5,414	c	C	II
		福祉キャブの顧客満足度	%	68	69	69	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	116,473	116,473	114,976	1)	(2)	
③	普及啓発・相互支援事業	福祉講演会の参加者数	人	100	110	2,879	a	A	I
		普及・啓発用広報紙の発行部数	部	2,567	2,695	2,762	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	2,250	2,250	1,450	1)	(1)	

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	効率性を高める業務・改善	研修への参加回数	回	15	16	22	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	適正な業務運営	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

今後も、川崎市の身体障害者福祉事業における実施体制の中核として、団体の育成、障害者理解促進のための普及・啓発、地域生活支援及び社会参加推進等を行うことを通じて、市内の身体障害者福祉の充実・発展と、「完全参加と平等」の理念に基づく身体障害者の地域社会での自立と社会参加の支援に寄与することを期待します。

前年度から引き続き、かわさきパラムーブメントの一環として障害者が気軽にスポーツに取り組むことができるよう事業を進めるとともに、障害者に関する普及・啓発のため障害者週間記念のつどいについては今後も開催方法を工夫するなど、より一層理解が広まるような取り組みのさらなる充実を求めてまいります。

また、市内の身体障害者の自立更生と福祉向上のため、身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を行う法人としての役割を担うとともに、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの拡充など自主財源の確保に努め、引き続き経営改善を進めることを期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
----------	------------------	-----	-------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)

事業名	障害者社会参加推進事業
計 画 (Plan)	
指 標	生活訓練等事業への参加者数、スポーツ大会等への参加者数
現 状	生活訓練等事業については、障害者の高齢化等により、生活訓練等事業の参加者数が減少傾向にありますが、スポーツ大会等への参加者数については、増加傾向にあります。
行動計画	障害者が広く社会参加が出来る事業計画を立て、事業内容の充実を図ります。また、全国大会の障害区分の変更も見込まれることから、全国の動向や本市の実情も勘案しながら障害者別参加競技の拡充を図ります。
具体的な取組内容	日常生活上必要な訓練・指導を障害特性やニーズに応じて実施すること、効率化により経費の縮減を図り実施回数を増やすこと、広報・周知の効率化(市政だより・広報紙・HPの活用等)による参加者数増などに取り組みます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 事業の実施に係る財源確保が進まない状況の中、実施回数の増加に取り組み、前年実績値を上回る数値となりました。</p> <p>【指標2関連】 積極的な参加の呼び掛け(本会としての周知・広報はもとより、市政だよりや市HPへの掲載を増やす取組、スポーツのまちかわさきFB活用等)に取り組み、参加者数は前年値を上回りました。</p> <p>【その他】</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	生活訓練等事業への参加者数	目標値	3,867	3,886	3,905	3,925	3,945	人
	説明 生活訓練等事業への参加者数 ※個別設定値:3,821(過去の平均値)	実績値		3,894				
2	スポーツ大会等への参加者数	目標値	2,770	2,909	3,054	3,207	3,367	人
	説明 スポーツ大会等への参加者数	実績値		3,141				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<p>障害者の地域での社会参加推進を図る事業として、生活訓練事業では当事者団体の意見を参考に文化的な教室を実施するなど、より参加しやすい内容としました。また、スポーツではかわさきパラムーブメントの一環として、障害者のあるなしに関わらずスポーツを楽しめる環境を整えるため、初級障害者スポーツ指導員養成講習会(支援者の育成)や各区のスポーツセンターで開催される障害者スポーツデー開催事業(障害者スポーツの練習場の確保)等の開催日数を増加するなど、事業を自主的に行い事業目標の達成に取り組み、前年度を上回る参加があるなど一定の成果をあげました。</p>								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	<p>障害者の地域での社会参加推進を図る事業として、当事者団体の意見を参考にしより参加しやすい内容としたり、継続的に障害者のニーズに応じた事業内容を自主的に検討、また、かわさきパラムーブメントの一環として、障害のあるなしに関わらずスポーツを楽しめる環境を整えるため、初級障害者スポーツ指導員養成講習会や各区のスポーツセンターで開催される障害者スポーツデー開催事業等の開催日数を増加するなど、事業目標の達成に取り組んでおり、前年度を上回る参加があり一定の成果をあげている。</p>

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	42,338	42,338	42,730	43,122	43,122	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		46,503				
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)								
<p>障害者スポーツ大会等においては、地域での社会福祉資源(ボランティアなど)の活用を図ることにより、効率的かつ効果的な事業実施に努め、事業実施に際し経費の節減に配慮したが、事業自体の拡充に伴う予算増のため、目標値を9.8%上回る実績値となった。</p>								

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(2)	<p>行政サービスコストについては、目標値未満とならなかったものの、障害者スポーツ大会等において、地域での社会福祉資源(ボランティアなど)の活用を図ることにより、効率的かつ効果的な大会運営等に努め、事業の実施に際して経費の節減に配慮しており、施策推進に関する指標では、何れも目標を上回る実績が得られたため。</p>

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)

事業名	生活支援事業
計 画 (Plan)	
指標	生活支援事業の利用者数、福祉キャブの顧客満足度
現状	障害者の日常生活・社会生活を支援するため、障害者総合支援法に基づく相談支援事業や移動支援事業を実施しておりますが、利用申込が重複するケースが増加しており、利用できないケースが増えています。
行動計画	サービスの向上や利用しやすい体制を検討し、より多くの利用希望者に利用してもらえるような効率的な体制を目指し、利用者数の増加を図るとともに、顧客満足度を勘案してサービス向上に努めます。
具体的な取組内容	研修を通じてサービスの質の向上を図り、利用者数の増加に取り組みました。また、現行3年に一度のアンケート調査により、顧客満足度を計ることに取り組みます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 生活支援事業について昨年度と同様に実施し、新たに行動援護従事者養成研修を実施するなど、提供するサービスの質の向上に取り組みました。</p> <p>【指標2関連】 平成31年1月～3月に行った利用者の期間更新手続きに合わせ、利用者アンケートを実施しました。</p> <p>【その他】</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	生活支援事業の利用者数	目標値	5,867	5,984	6,104	6,226	6,351	人
	説明 生活支援事業の利用者数	実績値		5,414				
2	福祉キャブの顧客満足度	目標値	68	69	70	71	72	%
	説明 アンケート等による満足度調査の結果	実績値		69				

指標1 に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

生活支援事業では福祉キャブの運営を中心に昨年度と同様の取組を実施し、また、利用申し込みが重複した場合でキャンセルが発生した場合にはなるべく空いた時間とならないよう調整を図ったものの、前年度実績を下回る利用者数となりました。また、新たに行動援護従事者養成研修を実施するなど、提供するサービスの質の向上が図れました。

福祉キャブ事業では、平成31年1月～3月に行った利用者の期間更新手続きに合わせ、利用者アンケートを実施しましたので、昨今の利用者満足度を把握の上、事業の改善につなげていきます。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	116,473	116,473	117,551	118,630	118,630	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値		114,976				

行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	-----------	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

養成研修事業の事業形態の変更により、行政サービスコストは目標値から縮減となりました。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度)

事業名	普及啓発・相互支援事業
計 画 (Plan)	
指標	福祉講演会の参加者数、普及・啓発用広報紙の発行部数等
現状	市民への普及啓発や障害者への相互支援を効果的に実施し充実させるため、広く市民にも参加を呼びかけ福祉講演会を開催しました。また、機関紙等紙媒体による情報発信だけではなく、インターネットも活用し、効果的な活動のPRに努めております。
行動計画	講演内容等の充実を図ることにより、参加者数の増加に繋げ、市民やボランティアへの参加を促進します。また、機関紙等紙媒体やインターネットによる情報発信手段をより有効に活用しつつ、新たな媒体を開発することで、より広範囲かつ効果的な活動のPRに努めます。そのうえで、対象者の状況に応じて容易に情報収集が可能となるような体制づくりをします。
具体的な取組内容	普及啓発及び相互支援の充実のため、特に外部並びに非会員の障害者に向けて周知を強化するとともに、市内の社会福祉資源等に依頼するなど、協力機関数の拡充を図ります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 講演会の実施は、参加者の増とより多数の市民への周知のため、他の事業(障害者が集うイベント)と共催により実施するよう変更しました。</p> <p>【指標2関連】 発行する広報物について、発行する種類や配布先などを検討し、より求められている情報の発信に取り組みました。</p> <p>【その他】</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	福祉講演会の参加者数	目標値	100	110	121	133	146	人
	説明 福祉講演会の参加者数	実績値		2,879				
2	普及・啓発用広報紙の発行部数	目標値	2,567	2,695	2,830	2,972	3,121	部
	説明 現行7種類の会報、機関紙等の発行部数	実績値		2,762				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

講演会については、障害に関する普及・啓発を効果的に行うため、従来の手法から抜本的な見直しを図り、他の事業(手をつなぐフェスティバル)との共催により、より事業目的を達成できる方向へ変更がなされたと認識しています。普及・啓発用広報紙の発行については、より障害への理解という事業目標を達成するために発行部数の増を図るなど効果的なアプローチが果たせたと認識しています。

本市による評価	区分	区分選択の理由
	達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	2,250	2,250	2,271	2,292	2,292	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		1,450				

行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

予算を活用し、より効果的な事業の実施がなされたと認識しています。

本市による評価	区分	区分選択の理由
	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	(1)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
----------	------------------	-----	-------------------

3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

項目名	効率性を高める業務・改善
計 画 (Plan)	
指標	研修への参加回数
現状	障害者の自立と社会参加が進む中、多様化・増大する業務に少数で対応しています。
行動計画	人材育成、適材適所、環境整備を図り、効率的な業務の実施に努めます。
具体的な取組内容	より良い人材の確保や職員を研修等へ積極的に参加させ、資格取得・スキルアップを図るとともに、労働環境・労働条件の改善や職員の特性を鑑みた配置を図ります。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 職員の資質向上のために、これに資する研修等への参加に取り組みました。</p> <p>【その他】</p>
---------------	--

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	研修への参加回数	目標値	/	16	17	17	18	回
	説明 研修への参加回数	実績値		15	22			
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

職員の資質向上のために、これに資する研修等への参加に取り組みました。
 ・サービス管理責任者等研修、防火管理者関係講習、働きやすい職場作りの研修、等

	区分	区分選択の理由
<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 10px; display: inline-block;"> 本市による評価 </div>	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 10px; display: inline-block;"> 達成状況 </div>	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	職員の研修等への参加により、資質向上等一定の成果があったため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止
		引き続き、現状の取組を継続して実施する予定です。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
----------	------------------	-----	-------------------

4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)

項目名	適正な業務運営
計 画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	専門家を活用した監査体制、コンプライアンスに努めています。
行動計画	適正な業務運営を図るために組織体制の整備を図ります。
具体的な取組内容	専門家を活用した監査体制を維持するとともに、職員の資質向上に取り組みます。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 コンプライアンスに関する取り扱い要綱を策定するなど、コンプライアンスの順守に関する取組を行いました。 【その他】
---------------	--

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	/	0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンスに反する事案の発生件数	実績値	0	0				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

コンプライアンスの順守に関して取組を行えたと認識しています。

	区分	区分選択の理由
<div style="background-color: #92d050; padding: 10px; display: inline-block;"> 本市による評価 </div>	達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> コンプライアンスに反する事案はなく、適正に事業を実施しているため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	引き続き、現状の取組を継続して実施する予定です。

●法人情報

(1) 財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	252,122			
	経常費用	256,209			
	当期経常増減額	△4,087			
	当期一般正味財産増減額	△4,087			
(指定正味財産増減の部)	当期指定正味財産増減額				
	正味財産期末残高	138,790			
貸借対照表	総資産	168,260			
	流動資産	108,222			
	固定資産	60,038			
	総負債	29,470			
	流動負債	20,850			
	固定負債	8,621			
	正味財産	138,790			
	一般正味財産	138,790			
	指定正味財産				

エラーチェック

OK

OK

OK

OK

本市の財政支出等(単位:千円)

平成30(2018)年度

令和1(2019)年度

令和2(2020)年度

令和3(2021)年度

補助金	79,352			
委託料	87,193			
指定管理料	20,617			
貸付金(年度末残高)				
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)				
出捐金(年度末状況)	10,000			
(市出捐率)	68.9%			

財務に関する指標

平成30(2018)年度

令和1(2019)年度

令和2(2020)年度

令和3(2021)年度

流動比率(流動資産/流動負債)	519.1%			
正味財産比率(正味財産/総資産)	82.5%			
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)	-2.9%			
総資産回転率(経常収益/総資産)	149.8%			
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益	74.2%			

法人コメント

本市コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
安全性については順調に推移しているが、当期毎に赤字とならないよう留意している。事業のボリュームが増えたことに伴い事業規模・行政サービスコストが増加している。しかしながら本会の80%を超える公益目的事業は赤字(収支相償以下)であることが求められるものであり、基本的には赤字体質になってしまう。収益事業の拡大等によりその解決を図りたい。	人件費の確保、市に依存しない収益基盤の整備を図りつつ、赤字の累積により事業継続性が危惧される事態に陥らないよう、収益事業の拡大・収益強化を図りたい。	公益法人であること、当事者団体であることの強みを活かした魅力ある事業展開や法人が蓄積してきたノウハウを今後も活かしつつ、市の事業以外の収益事業の拡大・収益強化を図るなど社会環境の変化に対応できる組織づくりに努められたい。

(2) 役員・職員の状況(令和1年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1		1	10		1
職員	13			10		2

【備考】

- 総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
- ・理由
- ・今後の方向性

経営改善及び連携・活用に関する方針

(平成30(2018)年度～平成33(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課
----------	------------------	-----	-------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

(1) 法人の事業概要

身体障害者団体に対する組織活動の推進事業、身体障害者の福祉事業、地方公共団体からの受託事業及び指定管理事業、身体障害者スポーツ及び文化活動の促進に関する事業、障害者・児に関する第2種社会福祉事業、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(2) 法人の設立目的

川崎市内の身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を行い、身体障害者の自立更生及び社会参加と福祉向上に寄与することを目的とします。

(3) 法人のミッション

全国的に身体障害者団体は、高齢化や参加者の減少という共通の課題に直面しています。一方で、川崎市には多くの流入人口があります。老若男女を問わず、障害をお持ちの方々がイベント等に参加いただくことによって、社会参加の機会を提供するとともに、団体の活動を交え、各種事業を展開することで身体障害者の福祉の向上を図るものです。

本市施策における法人の役割

川崎市の身体障害者福祉事業における実施体制の中核として、団体の育成、障害者理解促進のための普及・啓発、地域生活支援及び社会参加推進等を行うことを通じて、市内の身体障害者福祉の充実・発展と、「完全参加と平等」の理念に基づく身体障害者の地域社会での自立と社会参加の支援に寄与しています。

また、市内の身体障害者の自立更生と福祉向上のため、身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を行う法人としての役割を担うとともに、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの拡充など自主財源の確保に努め、引き続き経営改善を進めます。

さらに、市内に在住、在勤、在学の障害者に対して、部局の枠組みにとらわれないことと、その成長を促す取り組みを通じて市民とともに、存在意義を高めていきたいと考えます。

		基本政策	施策
法人の取組と関連する計画	市総合計画における位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり 活力と魅力あふれる力強い都市づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉サービスの充実 スポーツ・文化芸術を振興する
	分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> 第4次かわさきノーマライゼーションプラン 川崎市スポーツ推進計画 	

現状と課題

市内における身体障害者福祉の充実・発展のため、身体障害者団体の育成、障害者社会参加推進事業、障害者総合支援法に基づく各種サービス事業及び普及啓発事業等を実施しています。

高齢化の影響が当法人にも及んでおり、会員数の減少等の事態を招いています。この対策に加え、法人の活性化や一層の福祉の向上のためにも会員の拡大(非加盟団体・非会員障害者の取り込み)を行う必要があります。

また流入人口が多くある川崎市において、障害当事者には様々なニーズがあります。そのニーズに対応するためには、既存の枠組みだけでは対応できなくなっている側面もあり、より効果的・効率的な事業の実施が求められています。そのため、中期的な課題として向き合い、取り組むことによって、当協会自身の成長を図っていきたいと考えます。

取組の方向性

(1) 経営改善項目

安定的に各種サービスが提供されるように、意欲ある優秀な職員の育成に協力するとともに、引き続きコスト意識を持った経営となるよう連携を図ってまいります。

(2) 本市における法人との連携・活用

一例として、市民一人ひとりが2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機として捉え、持てる能力を発揮できる環境や機会の提供に努めるなどの障害者スポーツに対する取組や生活訓練に対する取組などでは、広報周知や会場確保など法人との連携を図ってまいります。事例や経験則の蓄積を通じて、結果として広く市民にその機会や情報の提供がよりできる組織となるよう、より一層の連携を図ってまいります。

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

- ・障害者の社会参加事業の充実
- ・パラリンピック開催を契機とした障害者スポーツの更なる普及促進
- ・障害者スポーツ協会の効率的な運営
- ・サービス利用希望者が利用しやすい効率的な体制の確立及び福祉キャブにおける顧客満足度の向上
- ・普及啓発に向けて広範囲かつ効果的な活動のPR
- ・利用状況調査を踏まえた既存事業の見直しの検討

本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	障害者社会参加推進事業	生活訓練等事業への参加者数	3,867	3,886	3,905	3,925	3,945	人	
		スポーツ大会等への参加者数	2,770	2,909	3,054	3,207	3,367	人	
		事業別の行政サービスコスト	42,338	42,338	42,730	43,122	43,122	千円	
②	生活支援事業	生活支援事業の利用者数	5,867	5,984	6,104	6,226	6,351	人	
		福祉キャブの顧客満足度	68	69	70	71	72	%	
		事業別の行政サービスコスト	116,473	116,473	117,551	118,630	118,630	千円	
③	普及啓発・相互支援事業	福祉講演会の参加者数	100	110	121	133	146	人	
		普及・啓発用広報紙の発行部数	2,567	2,695	2,830	2,972	3,121	部	
		事業別の行政サービスコスト	2,250	2,250	2,271	2,292	2,292	千円	

経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	効率性を高める業務・改善	研修への参加回数	15	16	17	17	18	回	

業務・組織に関わる計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度	平成33(2021)年度		
①	適正な業務運営	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件	

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		障害者社会参加推進事業						
指標		生活訓練等事業への参加者数、スポーツ大会等への参加者数						
現状		生活訓練等事業については、障害者の高齢化等により、生活訓練等事業の参加者数が減少傾向にありますが、スポーツ大会等への参加者数については、増加傾向にあります。						
行動計画		障害者が広く社会参加が出来る事業計画を立て、事業内容の充実を図ります。また、全国大会の障害区分の変更も見込まれることから、全国の動向や本市の実情も勘案しながら障害者別参加競技の拡充を図ります。						
スケジュール		現状値	目標値					単位
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	生活訓練等事業への参加者数	3,867	3,886	3,905	3,925	3,945	人
	説明	生活訓練等事業への参加者数						
	2	スポーツ大会等への参加者数	2,770	2,909	3,054	3,207	3,367	人
	説明	スポーツ大会等への参加者数						
	3	事業別の行政サービスコスト	42,338	42,338	42,730	43,122	43,122	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名		生活支援事業						
指標		生活支援事業の利用者数、福祉キャブの顧客満足度						
現状		障害者の日常生活・社会生活を支援するため、障害者総合支援法に基づく相談支援事業や移動支援事業を実施しておりますが、利用申込が重複するケースが増加しており、利用できないケースが増えています。						
行動計画		サービスの向上や利用しやすい体制を検討し、より多くの利用希望者に利用してもらえるような効率的な体制を目指し、利用者数の増加を図るとともに、顧客満足度を勘案してサービス向上に努めます。						
スケジュール		現状値	目標値					単位
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	生活支援事業の利用者数	5,867	5,984	6,104	6,226	6,351	人
	説明	生活支援事業の利用者数						
	2	福祉キャブの顧客満足度	68	69	70	71	72	%
	説明	アンケート等による満足度調査の結果						
	3	事業別の行政サービスコスト	116,473	116,473	117,551	118,630	118,630	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画③

事業名		普及啓発・相互支援事業						
指標		福祉講演会の参加者数、普及・啓発用広報紙の発行部数等						
現状		市民への普及啓発や障害者への相互支援を効果的に実施し充実させるため、広く市民にも参加を呼びかけ福祉講演会を開催しました。また、機関紙等紙媒体による情報発信だけではなく、インターネットも活用し、効果的な活動のPRに努めております。						
行動計画		講演内容等の充実を図ることにより、参加者数の増加に繋げ、市民やボランティアへの参加を促進します。また、機関紙等紙媒体やインターネットによる情報発信手段をより有効に活用しつつ、新たな媒体を開発することで、より広範囲かつ効果的な活動のPRに努めます。そのうえで、対象者の状況に応じて容易に情報収集が可能となるような体制づくりをします。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	福祉講演会の参加者数	100	110	121	133	146	人
		説明 福祉講演会の参加者数						
	2	普及・啓発用広報紙の発行部数	2,567	2,695	2,830	2,972	3,121	部
		説明 現行7種類の会報、機関紙等の発行部数						
	3	事業別の行政サービスコスト	2,250	2,250	2,271	2,292	2,292	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入						

3. 経営健全化に向けた計画

項目名		効率性を高める業務・改善						
指標		研修への参加回数						
現状		障害者の自立と社会参加が進む中、多様化・増大する業務に少数で対応しています。						
行動計画		人材育成、適材適所、環境整備を図り、効率的な業務の実施に努めます。						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度		
指標	1	研修への参加回数	15	16	17	17	18	回

4. 業務・組織に関する計画

項目名		適正な業務運営					
指標		コンプライアンスに反する事案の発生件数					
現状		専門家を活用した監査体制、コンプライアンスに努めています。					
行動計画		適正な業務運営を図るために組織体制の整備を図ります。					
スケジュール		現状値		目標値			
		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
指標	1	コンプライアンスに反する事案の発生件数					
	説明	0	0	0	0	0	件
		コンプライアンスに反する事案の発生件数					

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①障害者社会参加推進事業				
1	生活訓練等事業への参加者数	3,867人	3,945人	現状では対象となる障害者の高齢化等により、参加者が限定される傾向があるため、様々な広報媒体を活用し広く参加を呼びかけ、生活訓練等事業を通じた障害者の社会参加の推進を図ります。(参考:H26-H29 平均3,821人)
	算出方法 生活訓練等事業への参加者数			
2	スポーツ大会等への参加者数	2,770人	3,367人	大会等への参加者数については、増加傾向にあり、順調に推移していますが、効率的な大会運営や広報等により参加者数を増加させ、地域レベルからスポーツを通して障害者の社会参加の推進を図ります。(参考:H26-H29 平均1,712人)
	算出方法 スポーツ大会等への参加者数			
3	事業別の行政サービスコスト	42,338千円	43,122千円	事業の効率的な運用を努めることにより、事務経費の削減を図る指標となります。(参考:H26-H29 平均37,188千円)
	算出方法 直接事業費-直接自己収入			
②生活支援事業				
1	生活支援事業の利用者数	5,867人	6,351人	研修を通じたサービスの質の向上により、生活支援サービスを充実させ、障害者の自立支援を図ります。(参考:H26-H29 平均5,268人)
	算出方法 生活支援事業の利用者数			
2	福祉キャブの顧客満足度	68%	72%	サービスの向上や利用しやすい運行体制を検討し、より多くの利用希望者に利用してもらえるような効率的な運行により、顧客満足度を高め、障害者の移動支援の充実を図ります。(参考:H26-H29 平均73%)
	算出方法 アンケート等による満足度調査の結果			
3	事業別の行政サービスコスト	116,473千円	118,630千円	事業の効率的な運用を努めることにより、事務経費の削減を図る指標となります。(参考:H26-H29 平均157,219千円)
	算出方法 直接事業費-直接自己収入			

③普及啓発・相互支援事業					
1	福祉講演会の参加者数	福祉講演会開催回数の増加が、普及啓発や相互支援事業の充実を図る指標となります。	100人	146人	福祉講演会の開催人数の増加させることにより、障害福祉に関する情報提供や市民への普及啓発の機会の拡大となります。そのことにより、当事者支援の推進や障害者理解の促進を図ります。 (参考:H26-H29 平均105人)
	算出方法 福祉講演会の参加者数				
2	普及・啓発用広報紙の発行部数	発行部数等(月)の増加が、普及啓発事業での対象者への情報発信の充実を図るための指標となります。	2,567部	3,121部	機関紙等紙媒体やインターネットによる情報発信手段をより有効に活用しつつ、新たな媒体を活用することで、より広範囲かつ効果的な活動のPRIに努め、当事者支援の推進や障害者理解の促進を図ります。 (参考:H26-H29 平均2,681部)
	算出方法 現行7種類の会報、機関紙等の発行部数				
3	事業別の行政サービスコスト	事業の効率的な運用を努めることにより、事務経費の削減を図る指標となります。	2,250千円	2,292千円	事業の効率的な運用を努めて事務経費の削減を図ります。 (参考:H26-H29 平均1,952千円)
	算出方法 直接事業費－直接自己収入				
経営健全化に向けた事業計画					
指標		指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
			平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①効率性を高める業務・改善					
1	研修への参加回数	人材育成、適材適所、将来性などの環境整備を図ることが指標となります。	15回	18回	効率的な業務改善を目指すために人材育成、適材適所、将来性などの環境整備を図ります。
	算出方法 研修への参加回数				
業務・組織に関わる計画					
指標		指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
			平成29(2017)年度	平成33(2021)年度	
①適正な業務運営					
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	専門家を活用した監査体制や法令遵守に務めることが指標となります。	0件	0件	専門家を活用した監査体制や法令遵守に務めることによりコンプライアンスに違反することがない体制を作ります。
	算出方法 コンプライアンス違反件数				

資金計画表

[平成30年度～平成33年度]

法人名： 公益財団法人川崎市身体障害者協会

(単位:千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	65,029	68,551	71,293	74,144	77,109
		営業債権増加高	△ 2,889	0	0	0	0
		補助金収入	76,578	74,836	77,829	80,942	84,179
		委託費収入	113,531	107,747	112,056	116,538	121,199
		寄付金収入	480	1,000	1,040	1,080	1,123
		雑収入	2,960	4,400	4,576	4,759	4,949
		その他収入	480	21	22	23	24
		経常収入合計	256,169	256,555	266,816	277,486	288,583
	支出	事業費	254,169	247,551	253,351	260,951	268,779
		管理費	7,971	7,828	7,945	8,144	8,184
		減価償却費(△)	△ 3,339	△ 2,719	△ 2,719	△ 2,719	△ 2,719
		貸倒引当金繰入(△)	0	0	0	0	0
		退職給付引当金繰入(△)	0	0	0	0	0
		営業債務増加高(△)	△ 1,277	0	0	0	0
法人税等支払		0	653	672	692	712	
経常支出合計	257,524	253,313	259,249	267,068	274,956		
経常収支			△ 1,355	3,242	7,567	10,418	13,627
投資収支	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	
	固定資産売却収入	86	0	0	0	0	
	投資等収支	86	0	0	0	0	
財務収支	借入れによる収入	0	0	0	0	0	
	借入金償還による支出	0	0	0	0	0	
	利息/配当金の支払	0	0	0	0	0	
	財務収支	0	0	0	0	0	
現金預金増加高			△ 1,269	3,242	7,567	10,418	13,627
期首現金預金			88,204	86,935	90,177	97,744	108,162
期末現金預金			86,935	90,177	97,744	108,162	121,789